

# ★イノシシに出あってしまったら★

イノシシは本来臆病な動物です。こちらから何もしないかぎり、襲うことはありません。

けれども、何かに驚いたり、怪我をしていたり、犬に追われたり、発情期（秋冬）であったり、いきなりすぐ近くで人と出遭った時など、パニックになり襲うことがあります。

ケガをしないために、イノシシと出遭ったら、次のことに注意してください。

- 急に走り出さない（よけいにイノシシが興奮して襲うかもしれません）
- 後ろを向いて逃げない
- イノシシと向かいあったままで、ゆっくり後ろずさりし、その場を離れる  
※イノシシがたてがみを逆立て、シュー、カッカッカ、クチャクチャなど「威嚇音」（相手をおどかす音）を出している場合は特に注意！
- 棒を振ったり、石を投げたりして、イノシシを刺激しないようにする
- イノシシの子ども（うりぼう）を見かけても、そっとしておく  
（近くにお母さんがいるかもしれません。）
- すぐ近くであったとき、連れている犬がほえたりするとイノシシが刺激を受けることがあります。イノシシが向かってきたら、犬はいったん放す。
- 方が一に備えて、登れる木や塀などがあるか見渡す余裕も忘れないように。

## イノシシのとくちょう

- 食べ物… たけのこ、栗、イモ類、ミミズ、昆虫、ヘビなど。雑食性です。
- からだ… 助走なしで100cmを超える高さを飛び越えます。  
鼻が利き、鼻で50kgの物を簡単に持ち上げます。
- 生活… もともとは昼間も動きます。危険が多いと夜間に行動するようです。  
2歳で赤ちゃんを産みます。（1回に4～5頭）

★長野県では、イノシシなどの野生の動物が里に餌付かないよう、農作物や果実の取り残し、生ごみを畑に捨てたりしないようお願いしています。また、畑に電気柵を張る、やぶなどの草刈りや林の間伐など、みなさんが自分や地域全体でできる対策のお手伝いをしています。

有害鳥獣捕獲班の人（狩猟免許と捕獲許可を持っています）も、仕事の合間に農業被害などをふせぐためにイノシシを捕獲したりして、地域の安全を守ってくれています。